

私のアルバム写真から

平口 哲夫（金沢医科大学名誉教授）

〒920-0932 金沢市小將町 7-21

金沢医科大学在職中における学生の皆さんとの思い出深い交流のうち、人類学・考古学研究会(1981-1982)については『金沢医科大学創立 30 周年記念誌』(2003)に写真付きで記しておいたので、今回は私のアルバムに掲載されている別の写真 2 枚を紹介することにしたい。

写真 1 は、私が本学教養部(現・一般教育機構)の歴史学講師に着任して最初の授業、教養セミナー「日本文化の起源」の一環として、1974 年 6 月 14 日(金)、加賀市勅使町の国指定史跡・法皇山横穴古墳群を見学した際に撮影したものである。受講生 22 名と金沢医科大学のバス運転手と私の計 24 名が写っている。当時の教養セミナーは、教養部教員全員がそれぞれテーマを掲げ、学生アンケートで第三希望まで書いてもらい、極端なアンバランスが生じないように振り分けていたのであるが、私の初年度担当授業が教養セミナーだけだったため、「日本文化の起源」については第一希望者全員を受講させる処置がとられた。この写真を参加者全員に贈呈したところ、ある学生が「笑っているのは先生だけです」と言ったので、思わず頭を搔いてしまった。前列右から 4 人目が当時 29 歳の私、2 列目右端に岩手県大槌町で医院を営んでいて東日本大震災の大津波に遭われた植田俊郎院長の姿が見られる。

写真 2 は、2011 年 3 月 2 日(水)に内灘町大根布「はなき」で持たれた、第二学年指導学生との 2010 年度懇親会の際に撮ったものである。参加学生は左から宮森睦月、三宅啓太、三井善崇、溝口仁志、森河万莉の 5 名、このうち三宅君が幹事役を引き受けて懇親会が実現した。うれしいことに、3 月末定年退職する私に学生たちが花束を贈呈してくださった。そこで、「贈られし春の花束香り満つ」という句を 3 月 24 日(木)開催の金沢犀川ワイズメンズクラブ 3 月例会「俳句入門Ⅱ」に出したところ、出席者 8 名の互選による優秀作品に選ばれた。



「はなき」にて懇親会（2011 年 3 月 2 日）

指導学生との懇親会は学長経費(1 学生につき年額 5,000 円)で賄うことができる。2009 年度は、第一学年医学セミナー A クラスと一緒に担当した石崎昌夫先生や中村清先生と相談、2010 年 1 月 27 日(水)、A クラス懇親会に便乗して私の第一学年指導学生懇親会を金沢コロナワールドのカラオケスタジオで開催した。また 2008 年度は、フランス料理を食べたいという学生の希望に従って(ただし予算超過分は自己負担という約束で)、2009 年 3 月 2 日(月)、金沢市東山「くりゑンテ」で学生 5 名(うち 1 名は“代理”)とともにフルコースを楽しんだ。

ところで 2010 年 3 月 27 日(土)、川崎に住んでいる息子に会いに行ったついでに横浜港に面したホテルに一泊し、翌日、港に繫留・公開されている客船・氷川丸を見学していたら、勝田省吾学長(当時、学長補佐)と中濃理博常務理事に船上でばったり出くわした。前日、この地域の北辰同窓会支部の行事に出席されたとのことである。今後ともこういうグッドタイミングが生じるとしたら、私のような者でも前もって日程調整しておいて末席に連なることができるように、金沢医科大学のウェブサイトに行事予定を早めに掲載していただくとういことではないかと思う。

(『北辰同窓会 金沢医科大学創立 40 周年記念誌』2012 から転載、改訂)



法皇山横穴古墳群を見学（1974 年 6 月 14 日）